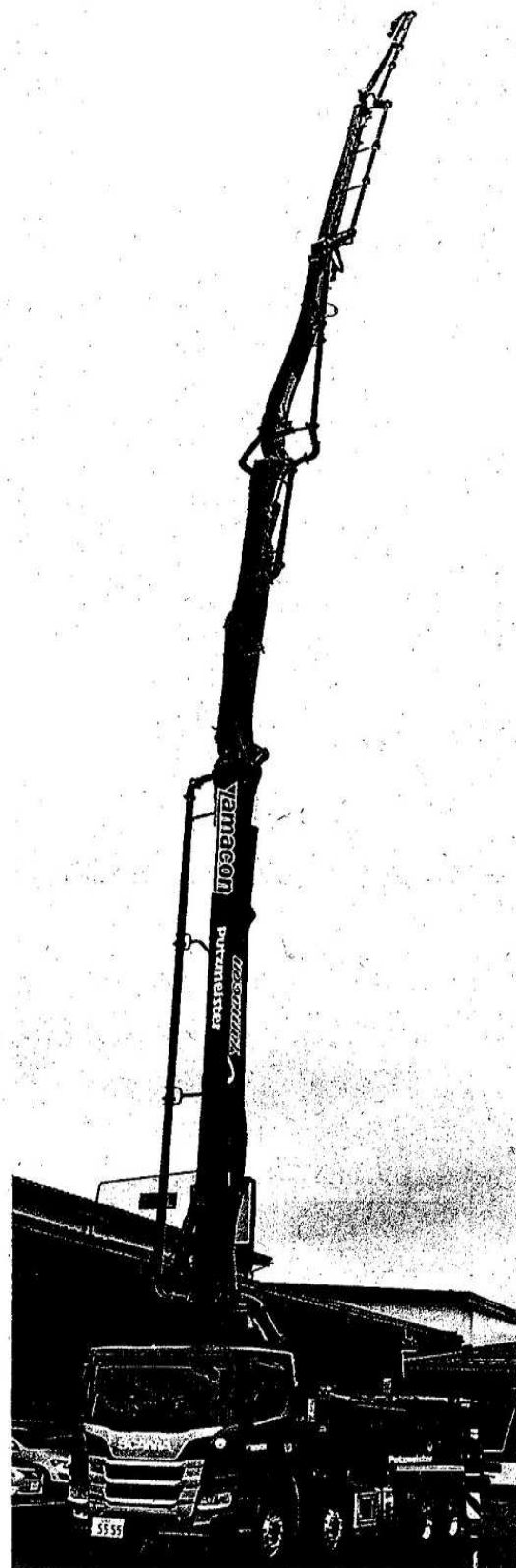


# アーム46メートルの ポンプ車導入

国内最大級

コンクリート圧送業のヤマコン（山形市、佐藤隆彦社長）が国内最大級の長さ46メートルのパイプ付きアーム（ブーム）を持つコンクリートポンプ車を導入し、納車式が26日、同社本社で行われた。作業時間短縮や生産性向上、業務効率化に資する設備で、同社は2台目の購入。関東支店（さいたま

## コンクリート圧送業・ヤマコン（山形）



ヤマコンが導入した国内最大級という長さ46メートルのアームを持つコンクリートポンプ車

＝山形市・同社本社

市に配備し、ニーズの多い大型案件に投入する。独ブツマイスター社製の、高さは13、14階に相当する45・5メートルまで対応可能だ。下方は32・8メートル。購入費は日本政策投資銀行のBCM格付に基づき、融資金を充てた。国内ではアームは30メートルが一般的で、それ以上が必要の場合は配管をつなぐ必要がある。配管工事の人手や時間を削減し、省力化、効率化するため、首都圏を中心に土木工事、建築工事で大規模機械の需要は根強い。1台目は2018年に同支店に配備し、東京五輪開会式会場の国立競技場の復興工事に役立てられた。佐藤社長は「コンパクトなため活用の幅は広い。大規模工事ですら力を発揮したい」と話した。

（菅原武史）

動画はここから  
電子版はダブルタップ

